

ナチュレ
AK NATURE
収納扉 ≪扉施工用≫

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

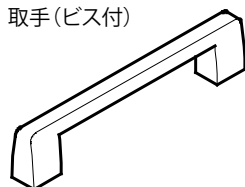
- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付け方をしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

部品構成

【扉梱包】

部 品 名	W755	W1185	W1650
本体	1	2	2
取手 (ビス付)	1	2	2

取手 (ビス付)

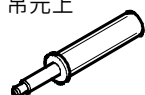


【部品梱包】

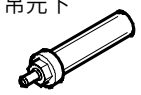
部 品 名	W755	W1185	W1650
ピボット 吊元上	1	2	2
ピボット 吊元下	1	2	2
ピボット 戸先	2	4	4
打込パイプ	1	1	1
軸受け	2	4	4
調整スパナ	1	1	1

※この部品は、部品梱包の中に入っています。枠梱包には入っていません。

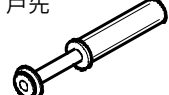
ピボット (A)
吊元上



ピボット (C)
吊元下



ピボット (B)
戸先



打込パイプ



軸受け



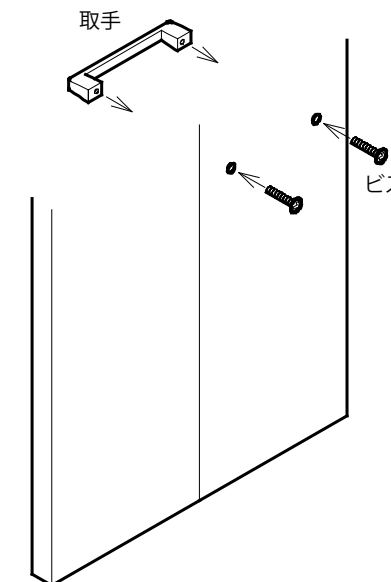
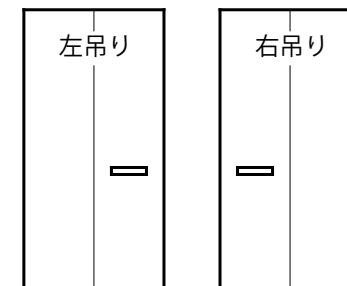
調整スパナ



1. 部品の取付け

≪取手の取付け≫

- ①吊元側の反対の扉の裏面からビスを差し込み、取手をビスで取り付けてください。

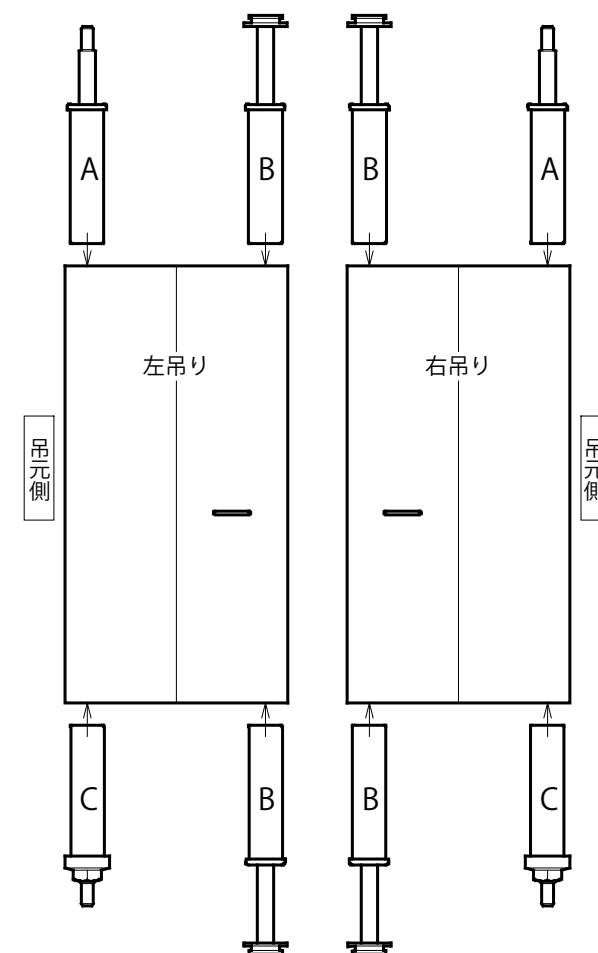
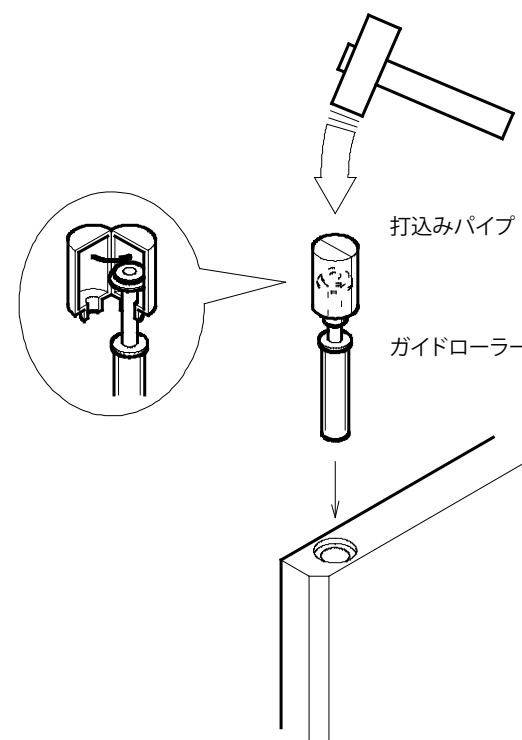


≪ピボットの取付け≫

- ①ピボットを扉の上下に正しく打ち込んでください。
- ②左右勝手に取付け方が違います。下図に従って間違えないよう取りつけてください。

注意

本製品はピボットの位置が左右で異なります。左右兼用ではありませんのでご注意ください。取付け方を間違えると、作動性能に影響します。



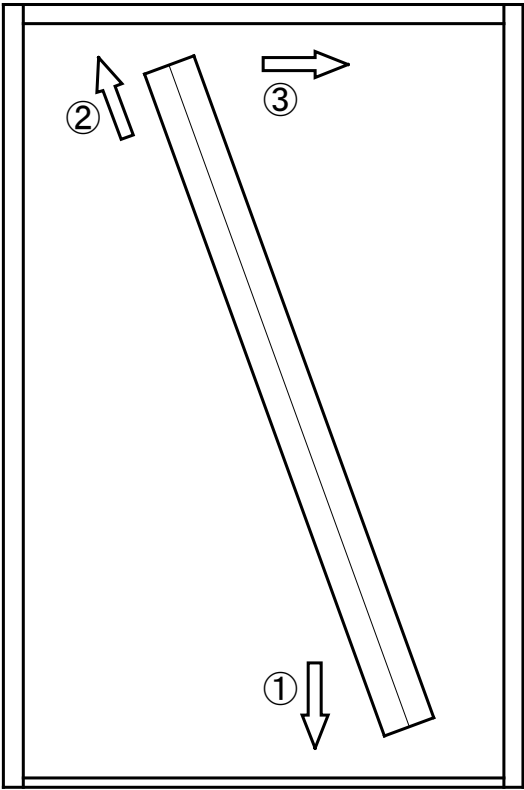
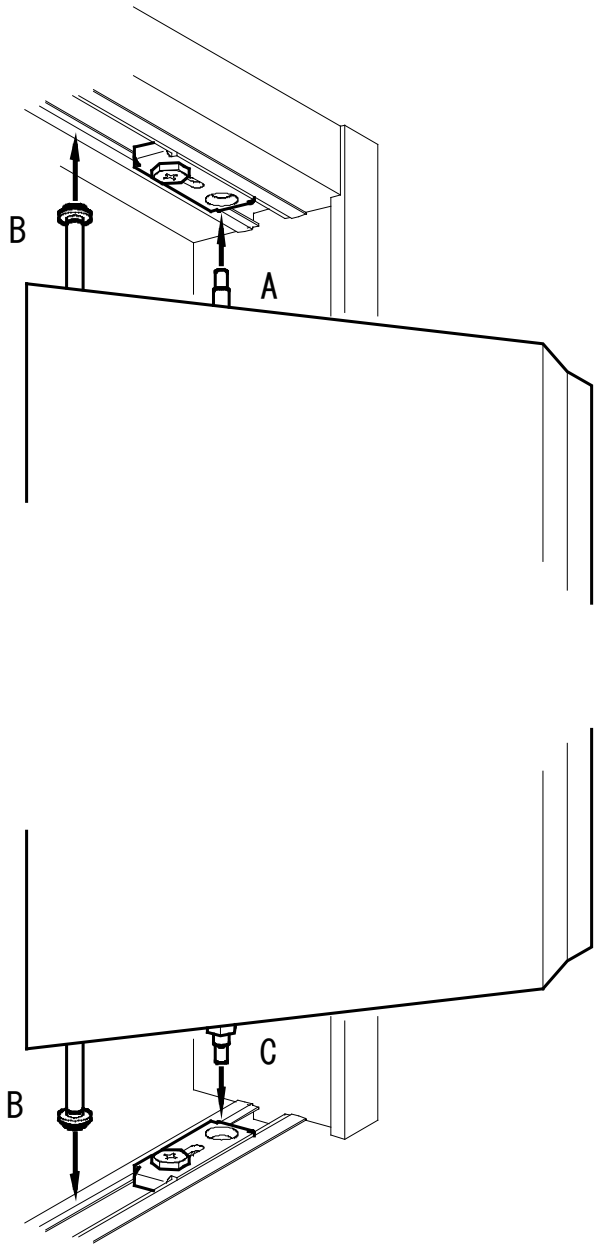
2. 扉の吊込み

《右吊の場合》

- ①ピボット吊元下を軸受け(下)に入れ、ピボット戸先下をレールに入れてください。
- ②扉を斜めに傾けて、ピボット吊元上を軸受け(上)に入れ、ピボット戸先上をレールに入れてください。
- ③扉を垂直に立てながら、軸受け(上)とともに扉を移動させ、適切な位置で軸受けの固定ナットを締めつけて固定してください。

注意

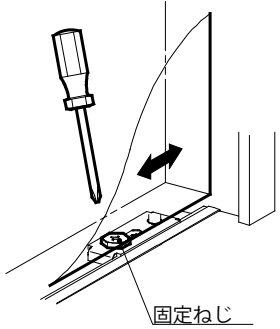
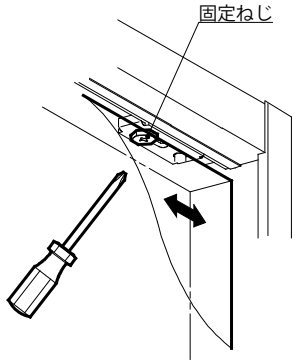
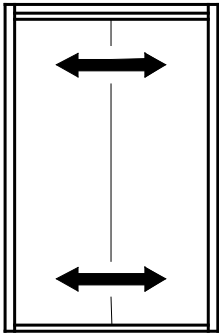
扉が倒れないように、軸受け(上)の固定ボルトはスパナを使って十分に締め付けてください。
電動ドライバー等による締め付けは、軸受けの破損の原因となります。



3. 扉の調整

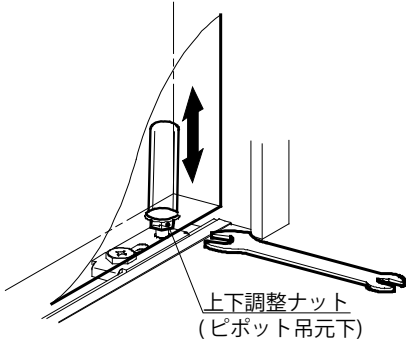
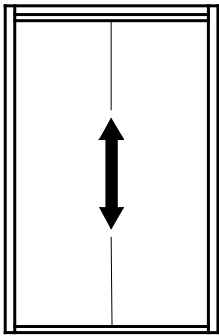
《左右調整》

- ①軸受けの固定ねじをゆるめ、軸受けごとずらして調整してください。



《上下調整》

- ①ピボット吊元下の上下調整ナットを、調整スパナで回して調整してください。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
 - ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
 - ◆ネジの緩みや枠のガタツキがないか確認してください。
 - ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※枠・扉各々の取付けが完了しましたら、当て傷・擦り傷等がつかないようにお手持ちの養生材等で枠・扉の養生を完全に行ってください。
養生の際には、比較的粘着力の弱い紙製のマスキングテープ等で止めてください。

⚠ ご注意 ⚠

ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引取っていただくようご協力をお願いいたします。
※縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。使用しますと変色・変質しますので絶対に使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。